

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－防衛庁－ （4）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 防衛庁, 自衛官, 沖縄現地研修, 野呂防衛政務次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43394

白
雲
飛
渡
江
山
記
三
卷
終
事
竣

秘密表示 (朱印)
取扱注意

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	1	1	
付	202		
戻			

発送日 昭 和 4 5 年 10 月 20 日
処理日
発信 12 タイプ 検査

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 番号 米北 1 第 半公信 公 信 日付 昭 和 4 5 年 10 月 19 日

大 臣 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 外 務 審 議 官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参 事 官 北米才一課長	起案 昭 和 4 5 年 10 月 19 日 起案者 電話番号 446
協 議 先 安全保障課長		
受 信 者 在 沖 縄 質 陽 参 事 官	発 信 者 才 北 米 一 課 長	
写 送 付 先	(希望発送日) 月 日	
件 名 海上自衛隊 連絡官に付了 連絡事項について		

GA-2 19 215 外 務 省 回覧番号

昭 和 4 5 年 10 月 19 日 (米北 1)

沖縄復帰準備委員会
日本国政府代表事務所
質陽参事官殿

才 北 米 一 課 長

(件名)
海上自衛隊 連絡官に付了 連絡事項について

引用公・電信
日付・番号

今般 防衛庁長官、海上幕僚監部防衛部長
長官に付了。海上自衛隊 連絡官に付了
連絡事項を、副紙のとおり 伝達す。依頼
1本に付。長官に付了。同連絡官に付了。1本
付了。伝達す。依頼 1本了。

※ 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

GA-2-1 外 務 省

(※印は文書課記入)

取扱注意

No. 1 沖縄連絡用紙 (年月) 45.10.15

決	部長	副部長	課長	班長	合議	起案者
裁						井山 三彦 Tel. 2507

(あて先) 沖縄派遣海上自衛隊連絡官 殿

(発) 海上幕僚監部 防衛部長

(通報) 防衛庁 防衛局長

外務省 アメリカ局長

(連絡事項)

1. 「はまほ」の沖縄方面派遣について、

別添の上は文書をもって MDAO に依頼した。

なお外務省には防衛庁から文書が通知された。

また沖縄北方対策庁には運用課担当者へ連続させる。

2. 次の各点について調査をせよ。(11月中旬迄)

(1) 那覇港における船舶燃料補給について、

ア 補給可能な燃料の種類別 (木質-重油、1重-軽

のそれぞれについて 米軍及び民間からの可能性)

イ 補給方法等 (岸壁補給、ボジカ、系統及価額

補給可能量)

(2) 那覇航空基地内の Naval Weather Service

Environmental Detachment, NAHA について、

ア 規模、人員

イ 本隊の目的……どの部隊にサービスしているか、

イ 機材 Fleet 6 VP 6 (P-3A) の両方とも、

ウ 地域は、

エ 予報業務を実施しているか、ASWEPs は?

オ 気象器材 他に FAX 器材の型式名稱、数量

3. 昭和46年度沖縄関係予算要求について、

沖縄復帰に伴う自衛隊の沖縄への配備のため必要な諸準備

のうち昭和46年度事業として実施するものについて10月9日大蔵省に

概算要求の追加という形で要求書を送付した。海上自衛隊

沖縄関係歳出要求額17億円(後年度20億円) 主要事項は次のとおり、

(1) 施政権の返還日を47年4月1日と仮定して計画した。

(2) 海上自衛官240人を増員する。(当初等の増員は47FY)

(3) 補給船4隻1989トンの建造(取得)

LST(1450ト)×1(47年度末) YAS(500ト)×1(47年7月末)

YT(30ト)×1(46年度末) YF(2)(9ト)×1(46年度末)

(4) 通信機器、車両、船舶船艇整備用整備器材等の一部を購入

(5) 新編部隊に必要な施設の整備(新設、改修)

取扱注意

NO.

(参考)

1. 沖縄の施政権返還時配備する海上自衛隊の部隊。(返還日は47.4.1に決定)

佐世保地方隊	—	沖縄基地隊 (木下トビーチ)	265名	47年5月1日新編
		本部 (支援船x3) YT, YF(2), YF(10) 内10名		
		掃海隊 (MSCx2) 35Md		
		舟艇隊 (LCMX3) 11Ld, 13Ld, 15Ld の5隻を1隻転用		
		那覇連絡所 (YASx1) ← 那覇港 YASは47.10.1配備		

航空集団	—	沖縄航空隊 (那覇航空基地)	440名	47年10月1日新編
		本部		
		飛行隊 (P-2Jx6) 産屋 IFs の5機転用		
		整備隊		
		基地隊		

佐世保地方警務隊	—	沖縄警務分遣隊 (那覇航空基地)	5名	47年5月1日新編
----------	---	------------------	----	-----------

計 710名

2. 先遣隊の派遣

- 47.4.1 沖縄基地隊 60人, 那覇連絡所 1人 沖縄警務分遣隊 2人
- 47.5.1 沖縄航空隊 第1次 32人
- 47.7.1 " 第2次 109人 (計141人)

取扱注意

別添

海上自衛隊

海幕選第4760号

4.5.10.2

相互防衛援助事務所長 殿

防衛庁海上幕僚監部防衛部長

給油艦「はまな」の沖縄方面派遣に伴う協力について(依頼)

海上自衛隊は、今般、別紙第1のとおり、給油艦「はまな」の沖縄方面派遣を実施することになりました。

ついては、この派遣を成功裏に終結できるよう、別紙第2の事項について、貴海軍のご協力を得たく、ここに貴官のご高配をお願いいたします。

添付書類：別紙第1「給油艦「はまな」の沖縄方面派遣計画」

別紙第2「協力依頼事項」

海上自衛隊

別紙第1

給油艦「はまな」の沖縄方面派遣計画

1 目的

昭和45年度遠洋練習航海部隊に対し、沖縄付近海域で洋上補給を実施するため、那覇港で待機させる。

2 期間及び派遣艦

(1) 期間

昭和45年11月10日(火)から11月17日(火)までの間

(2) 派遣艦

給油艦「はまな」(AO-411) 2900トン

乗員 はまな艦長1等海佐伊藤 茂 以下幹部約10名を含む約100名

3 行動予定

11月10日(火) 1000 呉 発

11月12日(木) 1300 那覇着

11月15日(日) 0900 同 発
洋上補給

11月17日(火) 1400 呉 着

海上自衛隊

別紙第2

支援依頼事項

1 通信

(1) 必要とする場合、SHIP/SHORE 通信の実施

注：コールサイン はまな J S V X

(2) 港湾通信の使用

入港3時間前から出港後3時間まで。

(3) 港内における電波発射の許可

2 後方支援

(1) 岸壁係留に関する支援

(2) 曳船及びパイロットの手配

3 所要の経費は日本政府の負担とし、FMS調達により米海軍積須賀補給処に払込む。

MARITIME STAFF OFFICE
DEFENSE AGENCY
TOKYO, JAPAN

MSO-00-4960
2 Oct. 1970

(Translation)

From: Chief, Operations Division, Maritime Staff Office,
Japan Defense Agency

To: Chief, Mutual Defense Assistance Office

Subj: Services and assistance to the deployment of JDS
HAMANA (AO-411) to the Okinawa area; Request for

Encl: (1) Deployment plan to the Okinawa area
(2) Services and assistance requested

1. The Japan Maritime Self Defense Force is planning to deploy
JDS HAMANA (AO-411) to the Okinawa area as stated in Enclosure
(1).

2. In order to obtain successful accomplishment of this event,
the U.S. Navy's support on the items stated in Enclosure (2)
are requested.

3. Your kind arrangement on this matter would be highly
appreciated.

Hiroichi Samejima
Hiroichi Samejima
Vice Admiral, JMSDF
Chief, Operations Division,
Maritime Staff Office,
Japan Defense Agency

Encl (1)

Deployment plan to the
Okinawa area of JDS HAMANA

1. Purpose:

To stand by at Naha harbor for the purpose of conducting the replenishment in the vicinity of Okinawa for the Training Squadron coming back from its round the world training cruise.

2. Period and Participating ship:

(1) Period:

10 November through 17 November 1970

(2) Participating ship:

JDS HAMANA AO-411 2,900 ton approximately 100 members including some 10 officers under the command of Captain Shigeru Ito.

3. Schedule:

Date & Time (Local standard time)			Place	Arrival & Departure	Remark
10 NOV	TUE	1000	KURE	D	
12 NOV	THU	1300	NAHA	A	
15 NOV	SUN	0900	NAHA	D	UNREP
17 NOV	TUE	1400	KURE	A	

Encl (2)

Services and assistance requested

1. Communication:

- (1) CW communication between ship and shore when necessary.
Call sign JSVX JDS HAMANA
- (2) Use of harbor control net:
From 3 hours prior to the entry and until 3 hours after the departure.
- (3) Permission to transmit with the JMSDF, while the ship is in port, is requested.

2. Logistics support:

- (1) A pilot and two (2) tug boats.
- (2) Arrangement of berth.

3. Funding arrangement:

Expenditure for service and materials will be borne by the Government of Japan and will be remitted to NSD, YOKOSUKA, U.S.N. in Japanese currency as provided for under the Foreign Military Sales (FMS) arrangement.

引取用紙 2部 アメリカ局長
研納付に送付す。

10/31 調査課 田村参事官

秘密標記 (赤色)



北米第一課長

昭和 45 年 10 月 27 日

千葉北米第一課長 殿

在 沖 繩

賀陽参事官

号別取用紙 2部 アメリカ局長
研納付に送付す。
本信は防衛省に送付せし
一節は当課に送付す。

(件名) 海上幕僚監部防衛部長に
対する連絡事項について(回答)

引用公・電信
日付・番号 10月19日付貴半公信(米北1)

当事務所連絡による回答を別添のとおり御
報告します。ついでに、半件報告を海上幕僚監部
防衛部長へ然るべく御転達をたく、右願い上げ

付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

本信送付先:

本信写送付先:

配付送:

要処理	<input checked="" type="checkbox"/>
首席事務官	<input type="checkbox"/>
渉外	<input checked="" type="checkbox"/>
航	<input type="checkbox"/>
科学	<input type="checkbox"/>
連絡診察	<input type="checkbox"/>
調査	<input type="checkbox"/>
カナダ	<input type="checkbox"/>
局庶務	<input type="checkbox"/>



GA-3-1

在外公館

2

ます。今後この様形式により回答を報告す
るに改めらるる旨了承いたす。

GA-4

外務省

別紙

(正装) 海上幕僚監部防衛部長殿

(答) 神艦連絡官 2等海佐 福沢為雄

(通報) 防衛庁 防衛局長

外務省 アメリカ局長

(連絡事項)

1 報告 (45.10.15 神艦連絡 No1 回電)

(1) 那覇港における艦艇燃料補給について

ア. 補給可能な燃料種別・価格・数量

(ア) 米軍: 高船用タンカー重油 (NAVY

SPECIAL FUEL
STANDARD (NSF) 770 質票

もの) のみ 岸壁 PIPE-LINE にて

補給可能

(イ) 商港 (琉球石油販売課調べの結果)

i. ボイラー重油に相当するものとして "E-17 HEAVY
(粘度240, 硫黄分

OIL NO.5" がある (従来 カムフラグノ装置と
2.92)

に NSF が 納入 されてい るが 契約社変更

(45.2.16) により 米海軍の NSF は 本品に変更

された) 価格 0.01585 ドル/リットル

ii. 1号重油に相当するものとして "マリン

ディーゼルオイル" (硫黄分1.93, 粘度54.4)

がある。価格 0.034⁰⁷⁹ ドル/リットル

iii. 4号軽油に相当するものとして "ディーゼル

ガスオイル" (セタン価55, 粘度1号重油の

も高い) がある。価格 0.085 ドル/リットル

これらの商品は 同社のタンカー (400T 型機,
900T 型機,
700T 型機,
50T 型機計8隻)

200T 型機計8隻) により 商港, 軍港とも艦艇に

横付け 給油 する。

(iv) 手続：米軍に対しては入港前の SERVICE 依頼
 項目に記載のほか、入港後 海軍又は
 陸軍に 規程書式 を以て 請求する。(本手続
 は入港時 乗艦 3 3 軍 連絡 増 に 依頼 種
 ぶい。)

商社に対しては、特に手続はない。

与米海軍 WHITE BEACH については、NSF 又は 船に
 かわり 6 6 土 岸壁 から PIPE-LINE に 5 7 補給 せ 得 る。

(2) "NAVAL WEATHER SERVICE ENVIRONMENTAL

DETACHMENT, NAHA" について

ア 指揮 関係

指揮官：LTJG V. D. DRYDEN

i. CTF12 の 気象 情報 業務

ii. FLEET WEATHER FACILITY, YOKOSUKA の

作戦 指揮 を 受 ける。

iii. NAVAL AIR FACILITY (NAHA AIR BASE)

管理 指揮 を 受 ける。

人員

指揮官 x 1, CPO x 1, ENLISTED x 8

可当直

ENLISTED 1 名 8 名 当直 に 2 3 交替 24 名 WATCH

在 任 し、霧 天 時 及 び 台風 接近 に 際 して は 人員 を 増

化する。

工 器材

テレビ 1 台

プリンター 1 台 (AN/UXH-2A)

(注) 2A: Mod. Long Range

不同部隊の機能

i. 当地において受信した気象データより天気圖の作成、データの解析を行なう。

ii. CTF 72 に対し毎朝(月-金)ブリーフィングの産物を作成し、必要に応じ、土、日もブリーフィングを実施する。

iii. NAVAL AIR FORCE の PILOT に対し FLIGHT WEATHER ブリーフィングの実施(当地に立ち寄り海軍機の機長に提供し、7th Fleet, VP6 両者を含む。)

iv. 予報業務
ブリーフィングの際に行なう。(定期的に予報を放送することは無い。)

v. ASWEP
海洋空襲は行なわれない。受信データのみのみ。

乙 当地米海軍月刊技術紙の送付について

"WINDJAMMER" 10月号(前任庁長官"外務省"兼沖野軍艦載) 3部入手致し、そのうち2部を送付し、1部(1部 防衛庁長官、1部 1EL司令、1部 海軍防衛部) : 別送。

(追記)

前記1項 琉球石垣所有タンカーの送油能力次のとおり

200T.型 : 80KL/hour

400T.型 : 200KL/hour

900T.型 : 700KL/hour

秘密表示 (朱印)
取扱注意

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	/	/	2
付			
属			

発送日 昭和45年11月 4日
処理日
発信 12 タイプ 検査

文書課長 (朱印) 公 信 案 (分類)

公 信 番 号 **米北1** 第 **米北信** 号 公 信 日 付 昭和 **45** 年 11 月 2 日

大 臣 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 外 務 審 議 官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参 事 官 北米才一課長	起 案 昭和 45 年 10 月 31 日 起 案 者 Take 電話番号 446
--	----------------------------------	---

協 議 先
安全保障課

受 信 者 在 沖 縄 賀 陽 参 事 官 発 信 者 千 葉 北 米 才 一 課 長

写 送 付 先 (希望発送日) 月 日

件 名 海上自衛隊連絡官に付了連絡事項について

GA-2 事務 184 回覧番号

米北1
昭和45年11月 2日 (米北1)

沖縄復帰準備委員会
日本国政府代表事務所
賀陽参事官殿
アメリカ局
千葉北米才一課長

(件名)
海上自衛隊連絡官に付了連絡事項について

引用公・電信
日付・番号

今般所新行り、海上幕僚監部所衛部長
FII等地派遣海上自衛隊連絡官に付了
連絡事項は、別紙のとおり伝達を依頼致
し、此の件、貴局より同連絡官に付、
1月2日付伝達を依頼し、

※ 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

GA-2-1 外務省

(※印は文書課記入)

取扱注意

沖繩連絡用紙
No. 2 (年月) 45.10.31

決	部長	副部長	課長	班長	合議	起案者
裁						井山 之 伸 Tel. 2807

(あて先) 沖繩派遣海上自衛隊連絡官 殿

(発) 海上幕僚監部 防衛部長

(通報) 防衛庁 防衛局長

外務省 アメリカ局長

(連絡事項)

1. 「はまな」の沖繩派遣について

(1) 米軍の公式連絡は 10.16付をもって、CHIEF, MDAO から COMFLTACTRY 宛に送付されている。

(2) COMNAVFORSJ には、本職から CHIEF, MDAO へ依頼した文書の写を送付した。

(3) 岸壁の Assignment が遅れて「はまな」の吳出港後とほつても電報通知等が可能なものだと決まり次第通知したい。

(4) 報道機関への公表は、11月6日頃 防衛庁で行う。発表文は別途電話連絡させるが、質問があった場合は適宜補足したい。

2. 現地調査について

(1) 目的: 送信所としての適合性の検討

(2) 場所: 本島南部八重州岳 米軍 SITE #7 の Radar 地帯。
(SITE #7 には別に Launcher 地帯がある)

(3) 調査事項

次の概要と現場写真

A. Fence 内外の Antenna 設置が可能な空地の状況
(SITE #7 の建物配置図は入手している。又、Fence の外は民有地の島と聞いている。)

イ. 機器の整備場所、発電機、整備場、居住施設等に当てふべき建物等の状況

ウ. 電波放射上の障害の有無

エ. 各基地からのマイクロ管制線設備の場合マイクロ波をささざるの何れか。(現地で見れば可)

(4) その他

A. 本件に関しては MILRONT を通い沖繩米軍の方に了解を取付け中であり、その回答があり次第連絡するので、そこから発動したい。

沖繩における米軍の窓口は SUB-COMMITTEE No. 6 (HQ USARYIS (RIC-CE)) と考へる。

イ. 内容は技術的 study の段階であるので、部外

